

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <http://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 康

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理部長 (氏名) 山崎 幸治

TEL 0257-23-2333

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	24,681	1.9	974	30.3	947	26.1	260	△17.4
21年3月期第1四半期	24,212	—	747	—	751	—	315	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	13.44	—
21年3月期第1四半期	16.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第1四半期	56,019	—	29,231	—	43.5	1,256.79
21年3月期	58,874	—	28,600	—	40.7	1,234.91

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 24,380百万円 21年3月期 23,956百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	47,400	2.1	640	3.2	700	37.8	△40	—	△2.06
通期	104,600	3.2	3,000	△15.6	3,100	△8.0	1,500	273.1	68.93

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	20,000,000株	21年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	600,609株	21年3月期	600,265株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	19,399,563株	21年3月期第1四半期	19,313,210株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間を本資料において修正しております。なお、平成21年6月5日に公表いたしました通期業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）におけるわが国経済は、景気の悪化に下げ止まり感が出ているものの、昨年秋からの世界的な金融市場混乱の影響が継続し、企業収益や設備投資の減少、雇用情勢の悪化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

菓子、飲料、食品業界は、安全・安心で高品質な商品が求められる一方で節約志向が高まり、より低価格な商品が選択されるなど消費マインドが向上する兆しが見えない状況で推移いたしました。

当社グループは、食品製造会社として、安全・安心・安定および健康を基とした品質保証第一主義に徹し、実質価値の高い商品と消費者ニーズにお応えしたサービスの提供に努めてまいりました。消費者の志向に対応した製品開発に加え、新製品を通じて新しいライフスタイルの提案や夏季向け商品の発売、店頭での商品陳列を高める営業活動などに努めてまいりました。

その結果、ビスケット品目、チョコレート品目、デザート品目、チューインガム品目などが好評をいただき伸張いたしました。

また、消費者を起点とした新たな価値の創造や継続したコスト削減活動および販売費の効率的な使用などに努めたことから、売上高、営業利益、経常利益は増加いたしました。四半期純利益は法人税等調整額が増加したことにより減少となりました。なお、前年同四半期に一部連結子会社の繰延税金資産の見積り計上額を見直しております。

以上の結果、売上高は24,681百万円（対前年同期比101.9%）、利益につきましては、営業利益974百万円（対前年同期比130.3%）、経常利益947百万円（対前年同期比126.1%）、四半期純利益260百万円（対前年同期比82.6%）となりました。

営業品目別の概況

ビスケット類は、合計売上高が17,454百万円となり、前年同期比102.8%となりました。

ビスケット品目は、ロングセラー商品の袋ビスケット商品群、パッケージビスケット商品群、実質価値の高さで支持をいただいたファミリーサイズ商品群、スイートセクションシリーズ、デリシャスバリエーションシリーズ、食べきりサイズのプチシリーズ、バッグサイズ商品群などが好調に推移し伸張いたしました。

菓子品目は、辛みを効かせた夏季向け商品の発売やおつまみ商品群が好評をいただきましたが、主力商品の伸び悩みにより前年同期並の推移となりました。

キャンデー品目は、サマーフルーツをテーマとした新製品や袋タイプのはなのど飴が堅調に推移いたしました。既存品の伸び悩みにより前年同期を下回りました。

デザート品目は、健康志向ニーズに対応したゼロkcalシリーズが大きく伸張いたしました。フルーツデザートへの志向が高まるなか、くだものいっぱいゼリーシリーズの品質改善やテレビコマーシャルの実施などにより伸張いたしました。

米菓類は、合計売上高が6,048百万円となり、前年同期比102.1%となりました。

米菓品目は、わさび風味の夏季限定商品や新潟県産コシヒカリ米を使用した高級感のある越後街道毘沙門焼などを発売いたしました。既存品が伸び悩み前年同期には及びませんでした。

スナック品目は、少量化ニーズに対応したプチポテトシリーズが大きく伸張し、口溶けの良いかるい食感のエビスナックに新味2品の発売など活性化を図りましたが、箱スナック商品群が競争激化の状況となり前年同期並の推移となりました。

チョコレート品目は、アルフォートミニチョコレートシリーズ、ブランチュールミニチョコレートシリーズに新製品を加えた小箱チョコレート商品群、既存品のチョコスナック商品群、ビットシリーズなどが好評をいただき大きく伸張いたしました。

チューインガム品目は、3種のアソートスティックガム「アソート3」に新味を発売し、品揃えの強化を図りました。前期、新価格帯に移行した「はなのどガムボトル」も好評をいただき伸張いたしました。

飲料・食品・その他は、合計売上高が1,178百万円となり、前年同期比90.6%となりました。

飲料品目は、健康果実ボイセンベリーを用いたオリジナルビネガーを配合した「酢てきスタイル125ml」を発売し、テレビコマーシャルをはじめとして積極的な告知を行うとともに、果実酢を取り入れた新しいライフスタイルの提案を行いました。また、ボイセンベリー果汁を使用したカロリーゼロの炭酸飲料「ボイセンベリースパークリングゼロPET500」も発売し好評をいただきましたが、既存品が競争激化の状況となり前年同期並の推移となりました。

食品品目は、ミルクココアシリーズなどに継続した支持をいただきましたが、商品リニューアル実施の遅れなどにより前年同期を下回りました。

その他品目では、通信販売事業は、取扱商品の拡大や催事商品企画などに取り組み堅調に推移いたしました。また、自動販売機事業は、多様な商品を総合的に取り扱うプチモールの設置台数の増加に伴い伸張いたしました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、56,019百万円となり、前連結会計年度末比2,854百万円の減少となりました。これは主に、季節変動による受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。負債は、26,787百万円となり、前連結会計年度末比3,486百万円の減少となりました。これは主に、季節変動による支払手形及び買掛金が減少したことと、借入金の返済および法人税等の支払があったことによるものです。純資産は、29,231百万円となり、前連結会計年度末比631百万円増加し、自己資本比率は43.5%となりました。

### (連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,123百万円の収入（前年同四半期1,769百万円の収入、対前年同四半期比63.5%）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益951百万円および減価償却費805百万円があったことと法人税等の支払額1,028百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは679百万円の支出（前年同四半期1,379百万円の支出、対前年同四半期比49.2%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,221百万円の支出（前年同四半期1,206百万円の支出、対前年同四半期比101.3%）となりました。これは主に、借入金の返済による支出があったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前第1四半期に比べ855百万円増加し、5,432百万円となりました。また、前連結会計年度末に比べ773百万円減少となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想の修正を行なっておりますので、詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,425	6,199
受取手形及び売掛金	9,436	11,777
有価証券	7	6
商品及び製品	4,016	4,011
仕掛品	467	457
原材料及び貯蔵品	2,924	3,006
その他	2,081	2,352
貸倒引当金	△100	△138
流動資産合計	24,258	27,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,442	8,470
機械装置及び運搬具（純額）	8,953	9,309
その他（純額）	7,205	6,468
有形固定資産合計	24,600	24,248
無形固定資産		
のれん	54	62
その他	616	626
無形固定資産合計	671	688
投資その他の資産		
その他	6,544	6,294
貸倒引当金	△56	△31
投資その他の資産合計	6,488	6,262
固定資産合計	31,760	31,200
資産合計	56,019	58,874

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,938	9,984
短期借入金	2,101	3,105
未払法人税等	227	1,048
賞与引当金	353	837
返品引当金	104	94
その他	6,429	6,609
流動負債合計	18,155	21,681
固定負債		
長期借入金	1,841	1,939
退職給付引当金	5,495	5,461
役員退職慰労引当金	161	191
その他	1,132	999
固定負債合計	8,632	8,592
負債合計	26,787	30,273
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	92	92
利益剰余金	23,622	23,458
自己株式	△172	△172
株主資本合計	24,579	24,416
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△106	△297
為替換算調整勘定	△91	△161
評価・換算差額等合計	△198	△459
少数株主持分	4,850	4,643
純資産合計	29,231	28,600
負債純資産合計	56,019	58,874

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	24,212	24,681
売上原価	14,565	14,467
売上総利益	9,646	10,214
販売費及び一般管理費	8,899	9,239
営業利益	747	974
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	26	32
為替差益	18	—
その他	34	25
営業外収益合計	84	65
営業外費用		
支払利息	15	11
持分法による投資損失	15	—
為替差損	—	29
開業費償却	33	—
貸倒引当金繰入額	—	24
減価償却費	—	22
その他	16	2
営業外費用合計	80	91
経常利益	751	947
特別利益		
貸倒引当金戻入額	62	38
特別利益合計	62	38
特別損失		
固定資産処分損	—	31
減損損失	12	2
その他	2	—
特別損失合計	14	34
税金等調整前四半期純利益	799	951
法人税、住民税及び事業税	156	214
法人税等調整額	71	270
法人税等合計	228	484
少数株主利益	254	206
四半期純利益	315	260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	799	951
減価償却費	741	805
のれん償却額	7	7
受取利息及び受取配当金	△31	△39
支払利息	15	11
持分法による投資損益(△は益)	15	—
固定資産処分損益(△は益)	—	31
減損損失	12	2
売上債権の増減額(△は増加)	2,272	2,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△282	75
仕入債務の増減額(△は減少)	27	△1,058
賞与引当金の増減額(△は減少)	△491	△483
その他	△633	△525
小計	2,452	2,128
利息及び配当金の受取額	33	34
利息の支払額	△12	△11
法人税等の支払額	△704	△1,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,769	1,123
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,193	△666
投資有価証券の取得による支出	△139	△2
その他	△45	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,379	△679
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△1,000	△1,000
長期借入金の返済による支出	△122	△101
配当金の支払額	△83	△90
その他	△0	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,206	△1,221
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△851	△773
現金及び現金同等物の期首残高	5,428	6,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,577	5,432

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）において、当社グループは食品製造会社として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類、飲料食品等の製造、販売を行なっております。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）における海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

販売実績

事業の区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	構成比 (%)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	構成比 (%)
ビスケット類(百万円)	16,984	70.1	17,454	70.7
米菓類(百万円)	5,926	24.5	6,048	24.5
飲料・食品・その他(百万円)	1,301	5.4	1,178	4.8
合計(百万円)	24,212	100.0	24,681	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。